

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター

電話 52-0894



令和7年度の青少年育成活動がスタートします



塩尻市青少年育成委員について



塩尻市では、青少年の育成を総合的に推進して非行を防止し、その健全を図る目的で

昭和50年12月に塩尻市青少年補導センターが設置されました。市内の各区から推薦され、市長の委嘱を受けた青少年補導員が、巡回中心の補導活動を行ってきました。その後、令和2年に名称を現在の「青少年育成センター」「青少年育成委員」に変更し、活動の重点を見守り・育成へとシフトして、時代に沿った活動へ見直しを行いました。

育成委員の選出方法について

令和7年度の青少年育成委員の選出から、役員選出の負担軽減、委員のなり手不足を考慮し、各区の推薦に選択制を導入しました。これにより、新規の委員10名を含む、25名の青少年育成委員が選出され、今年度は25名体制で活動を行います。

育成委員の活動について

委員数の減少に伴い、今までと同じ活動を行うことが難しい地区もありますが、地区の実情を踏まえて、通学路の見守りやあいさつ運動を計画しています。車での巡回などを加えながら、子どもたちや学校、保護者の方々が不安に感じることはないよう活動を継続していく予定ですので、御協力をお願いいたします。

令和7年度塩尻市青少年育成委員協議会総会が行われました

4月23日(水)に、令和7年度塩尻市青少年育成委員協議会総会が行われました。始めに、昨年度まで3期6年にわたり、塩尻市青少年育成委員協議会の会長を務められた、薄田利秋様から御挨拶をいただきました。「最近住民同士のつながりも希薄になってきているが、私たちの活動も、地域の子どもたちと日々の活動を通して繋がっていくことが大切」とのことでした。

協議事項では、

- ・令和6年度事業計画及び決算報告
- ・令和6年度会計報告
- ・令和7年度事業計画及び予算案

について協議しました。また委員数の減少に伴い、協議会会則の改正を提案し、

- ・会計の選出→会計を事務局へ集約
- ・理事の選出→理事の廃止

以上の点を改正しました。

今年度の役員の選出については

会 長	社会教育スポーツ課 課長	上村 英文
副会長	檜 川	平林 昌利 様
監 事	広 丘	野村 義嗣 様
監 事	吉 田	田村 隆喜 様

以上の皆様に決まりました。役員の皆様、よろしくお願いいたします。

【令和7年度青少年育成委員協議会事業計画】

- ・5月～12月 地区別見守り、あいさつ運動の実施
- ・7月 青少年の被害・非行防止全国強調月間
- ・7/1 同月間に伴う駅前街頭啓発
- ・8/1 夏休み青少年育成講座
- ・11月 子ども・若者育成支援強調月間及び有害環境浄化活動強化月間

★5月の地区別活動予定

5/9(金)	大門	西小・桔梗小通学路見守り
5/14(水)	広丘	広丘小通学路見守り
5/16(金)	吉田	吉田小通学路見守り
5/21(水)	檜川	檜川小中付き添い下校

- ・活動の際はベスト・たすき・委員証を御持参ください。(お持ちでない方は当日お渡しします)
- ・状況により、帽子や雨具、水分補給用の飲み物等を御用意ください。
- ・欠席される場合は事務局までお知らせください。

5/1～6/30 は
「不正大麻・けし撲滅運動」期間です

この運動は、不正栽培を撲滅し、犯罪予防の観点から各地に自生している大麻やけしを一掃するため、昭和35年から毎年、大麻やけしの発見と除去、正しい知識の普及・広報啓発を展開しているものです。

大麻やけしは栽培免許を持つ人以外の栽培が禁止されていますが、乱用目的で不正栽培をする人が後を絶ちません。特に大麻については、令和5年の国内の大麻事犯者の検挙数は6,703人となり、検挙人員のうち30歳未満の割合が過去最高の72.9%になるなど、若年層による大麻事犯が引き続き課題となっています。（厚生労働省HP）

大麻を乱用すると・・・



知覚の変化

情緒の不安定

思考の変化

長く続けていると・・・



大麻精神病

知的機能の低下

無動機症候群

大麻所持の検挙者は、覚醒剤に対しては約7割が危険性があると認識している一方で、大麻に対しては約8割が危険性がないと考えています。海外では合法の国も存在することなどを理由に、インターネット上では大麻の危険性を軽視する情報が氾濫しているのが現状です。

令和6年12月12日に大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律が施行され、これまで法律により禁止されていた大麻等の「所持」や「譲渡」等に加え、新たに「施(使)用」についても禁止されました。違反した場合、「7年以下の懲役(単純所持・施用等の場合)」という重い刑罰が科せられます。（警視庁HP）

長野県警察安全・安心アプリ
『ライポリス』の運用が始まりました

「ライポリス」は、犯罪や不審者、交通事故等の各種情報をタイムリーに提供するほか、防犯に役立つ機能により利用者の防犯意識等の向上を図り、自主的な防犯活動を促進して、犯罪の起きにくい安全・安心な長野県を実現することを目的とした**長野県警察公**
式の防犯アプリです。



ライポリスの主な機能

安全安心マップ	犯罪・事故・不審者情報等の発生場所付近のおおよその地域が表示されます。
お知らせ通知	お住いの地域を設定するとプッシュ通知で犯罪や不審者情報等のお知らせが届きます。
見守りパトロール支援	犯罪や不審者情報が多い重点エリアを確認しながら防犯パトロール活動ができます。
防犯ブザー機能	防犯ブザー機能により緊急時に周囲に危険を知らせ助けを求めることができます。クマよけ鈴の機能もついています。
緊急情報エリア通知機能	対象エリアにいるアプリ利用者に緊急情報を通知します。緊急情報をタイムリーに受け取ることができます。

※ライポくん安心メールは令和7年3月31日をもって運用を終了しました。4月1日以降、これまでライポくん安心メールで配信していた情報はすべてライポリスで配信されています。詳しくは、

ライポリス



交流文化部 社会教育スポーツ課 社会教育係

電話：0263-52-0894

FAX：0263-53-7604

窓口：塩尻総合文化センター1階 総合受付

担当：林 奏芽、上條 勝美